



令和6年度 第3回 応用動物科学セミナー

オンラインで実施

創薬における生殖発生毒性試験のための Microphysiological systems (生体模倣システム)

堀 武志 先生

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所
診断治療システム医工学分野 助教

使用言語・Language : 日本語・Japanese

医薬品などのリスク評価において、動物実験に代わる手法として New Approach Methodologies (NAMs) が注目されている。NAMs の一つに、生体模倣システム(MPS)を用いたインビトロ評価法がある。本発表では、最近私たちが開発したヒト胎盤 MPS を中心に、MPS の基礎から応用までを説明する。

● 2024年7月12日(金) 16:00 ~

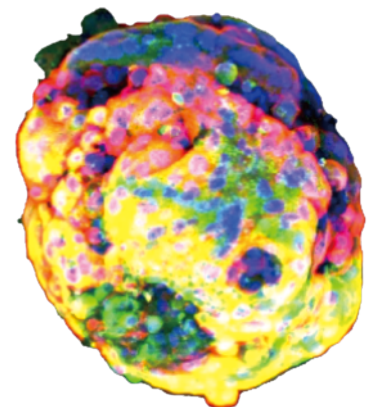
Zoomで開催

要 事前登録



QRコードのリンク先で登録してください。登録完了と共に受付完了のメールが送付されます。ZoomのURLとPWは開催1週間前に通知されます。

- 本セミナーは東京大学 AMED iD3キャタリストユニット主催の 第19回 Top Runners in TRS として開催され、本専攻の学生にも公開されるものです。動物科学のフロンティア(修士課程)/動物科学フロンティア(博士課程)の講義1回分としても認定されるので、履修者は、セミナーの内容についてレポートを作成の上(様式は自由)、セミナー終了後2週間以内にUTOL経由で提出してください。



- 問い合わせ先:
獣医学専攻 実験動物学研究室 角田 茂 准教授
☎ 03-5841-5037
✉ a-skakuta@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

Hori, T. et al. Nat Commun 15, 962 (2024).